

彩北通信



〒366-0827 玉県深谷市栄町 17-2

TEL 048-575-3291 E-mail: info@saihoku-juku.com

蓮塾長のブログ（彩北日記）⇒ <https://ameblo.jp/saihoku-sj/>

月刊 No. 202

2023年12月1日発行

発行元：彩北進学塾

発行責任者：蓮 克彦

彩北進学塾の自習の使い方

彩北進学塾では、授業日外も塾生であればだれでも毎日自由に自習に来ることが可能です。日曜日を除く毎日15時～22時30分まで好きな時間に自習ができます。自習ではありませんが、適宜、質問などでもできるので有効活用してほしいと思います。特に、家で勉強がなかなか思うようにできない場合は、塾に来て1時間でもやるとよいかもしれません。過去の例から見ても学習習慣がついて来れば必然的に学力も向上してきますし、やっていく中で学習意欲も向上してきます。

◎名言・一言

今でも難しい決断をするときには、

「困難な道のほうが正しいと思え」という原則を思い出す。

ラリー・R・ドニソン（教育者）

★貴方に送る今月のおすすめ★ 今月のおすすめは、映画 です

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』12月8日公開

SNSを中心に話題を集めた汐見夏衛の同名ベストセラー小説を映画化し、戦時中の日本にタイムスリップした現代の女子高生と特攻隊員の青年の切ない恋の行方を描いたラブストーリー。NHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」の福原遥が百合役、「死刑にいたる病」の水戸恒司が彰役で主演を務める。「光を追いかけて」の成田洋一が監督を務め、福山雅治が主題歌を担当。

▼お知らせ▼

- ・12月2日(土) 保護者会予定ですが、詳細は後日連絡
- ・12月9日(土) 楽しく学ぶ理科実験教室(予) 14:00～15:00
- ・12月16日(土) 17周年記念クリスマス・パーティー in 深谷公民館
- ・12月23日(土) 2学期通常授業終了 / 12月25日(月)～ 冬期講習会

■最近のニュースから■ 文部科学省は、公立高校入試の追試験の対象に、月経による体調不良を加えるよう都道府県の教育委員会などに周知する方針を固めた。これまでは各教委で対応が分かれていた。文科省は年内にも通知を出し、未実施の教委に来年入試からの対応を求める。

文科省が今年6月、都道府県教委に出した公立高入試に関する通知では、追試験の対象例として、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染のほか、自然災害や事故・事件、痴漢被害に遭った場合などを挙げていた。一方、月経については、中学校が作成する「調査書」（内申書）で、欠席日数のうち月経が理由である日数を示すなどして合否判断で不利にならないよう配慮を求めるにとどまり、追試対象と明記していなかった。

16日の参院文教科学委員会で、文科省の矢野和彦・初等中等教育局長は「（月経の影響による追試験が）可能であるということ、年内に文書により周知したい」と答弁。盛山文科相は「月経に伴う症状を含め、やむを得ず受験できない生徒の受験機会を確保することが重要だ」と述べた。（以下、略）2023.11.17 読売新聞オンライン

▽勉強方法ワンポイントアドバイス▽

気持ち大切

勉強をする際に、ただなんとなくやるのと、きちんと目標ややるべきことを意識してやるのでは大きな違いがあります。「今日はこれをできるようにするぞ」とか「毎日最低限これだけはやる」という気持ちで取り組みましょう。ただ時間をかけてあれこれやってもあまり効果が出ないので、目標を決めて取り組んでみましょう。

2023年もあとわずかです。2024年が良い年となるように締めくくりをきっちりしておきましょう。勉強も部活も遊びも全力で。